

千葉菌類談話会通信 22 号 目次

砂丘に発生するマツタケ	笹 孝	4
千葉の砂浜の思い出	糟谷 大河	6
家庭で作れるキノコのフリーズドライ	飯塚 茂明	10
佐倉城址公園に発生したキヌガサタケ 2 種	吹春 公子	14
千葉県でタマノリイグチを見つけた！	大作 晃一	18
三休むかしばなし「ヨーキング・ドリンクイーン・三休さん 仙台大合宿」	三休さん	21
マコモ文化圏とは	福士 玲子	28
プレ Dr.吹春 千葉菌類談話会以前のこと	翠田 丕	30
大地に「感同」を求めて	高橋 勝雄	31
大雪の日に枯れ木に花を咲かせたエノキタケ	菊地 栄子	33
キノコに会えて、もう一つ人生が広がった	斎藤 仁	34
きのこ・かび関連図書の紹介	吹春 俊光	35
「きのこはともだち」	鈴木 きのきの	40
青木実「日本きのこ検索図版」の発行について	腰野文男、吹春俊光	41
2005 年度(続)・2006 年度行事報告	吉田 悦子、菊池栄子、大蔭和子	42
きのこ歳時記 4 - 子規と虚子の時代の俳句より -	今野 英山	49
きのこ歳時記 3 - 蕪村・一茶時代の俳諧より -	今野 英山	53
事務局から		54
コラム 海外旅行の楽しみ	吉田 悦子	9,17,50

表紙によせて

2002 年 4 月下旬、水戸市郊外のハーブ園。庭に植えられた数本の桜の根元一面に、ハルシメジが大量に発生していました。回りに植えられていたお茶の木の生垣の下にまであふれんばかりのハルシメジ。でも、ちょっと時期が遅かったのか乾いているものが多かったのは残念。その中で、大きい 2 本が寄り添うように生え、あまりにもかわいく、おいしそうだったので、絵にしてみました。色も薄く形にもあまり特徴のないこの種のきのこは、なかなか描くのが難しく思います。なんと言っても地味ですから。その時は、もちろん食べ頃のもの数本を頂いて帰り、食卓に花を添えたことは、言うまでもありません。

近年、日常の忙しさに感てきのことの出会いも少なくなっています。あれからそのハーブ園にも行っていませんが、今はどうなっているでしょうか。春になったらまた一度行ってみたいと思います。(池田純代)